

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	・客単価のアップ、それとともに客数の増加が見込まれているので、かなり良くなるとみている。
		百貨店（店舗企画）	・昨年のプレミアム付商品券の反動が12月で終了することと、免税売上が前年を大きく下回ることはない予想されるため、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・来客数が増加しており、観光客が沖縄の商品をよく買ってくれる。
		通信会社（店長）	・2月後半からは例年学生向けのキャンペーンが始まるので市場は活性化され、提案をしっかりと行い動機づくりをすれば販売は確保できると考えている。
		観光名所（職員）	・予約数の動きを見るとやや良くなる。
		一般小売店〔菓子〕	・特段の変わった要件がない。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・このような暖冬が続くと、冬物が動かないので、ファッション系、買回り品的な商売はかなり厳しいとみられる。
		スーパー（販売企画）	・単価のアップはまだ続くと思われるが、客数が増える要素がない。
		コンビニ（経営者）	・自社競合により、来客数減は続くと思われる。
		コンビニ（代表者）	・消費活動に大きな変化はなく、安定して県経済は推移している。
		衣料品専門店（経営者）	・景気が停滞している上に、気候の影響もあり、売上があまり伸びていない。街には観光客はいるが、地元の客が少ないのでその辺も問題かとみている。景気に関しては、まだまだ様子見だとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・弊社の商売は冬に向かうにつれ悪くなっていくが、年始は良いとみている。2月は暇になるが、3月から良くなっていくとみている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・例年どおり繁忙期が落ち着いていくとみられるが、特に昨年から大きく変わる要因は見当たらない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現時点における予約状況から推測される今後2～3か月先の客室稼働率見込みは、今月同様に前年同月実績比でプラス幅で推移することが見込まれる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・工事受注状況は良いものの、建設現場における現場代理人、職人の不足感が強い。建築確認申請承認や各工事会社との段取りに懸念材料が残る。
		旅行代理店（マネージャー）	・今後、インターネット予約との競争に拍車がかかっていく状況のなかで利益率の低い産業へと加速度的に進んでいる。
	住宅販売会社（営業担当）	・商談件数に対して設計士が不足しており、募集しても来ない。それによって、建築スケジュール遅延が予測される。	
	×	商店街（代表者）	・日本全体では良くなっている企業も部分的にあるとみているが、少しの儲けでも売上を上げる力のある大型店とは違い、個店のような零細企業においては、値引きもできずに大変厳しい状況下にある。商店街では飲み屋だけが大きくなって販売面では大変苦戦している。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・飲食業の上位10%は別として、全体的には入客不足、スタッフ不足、法的引き締め強化等の厳しい環境のなかで生き延びていかなければならない。
企業動向 関連 (沖縄)		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末に向けて公共工事が期待される。
		輸送業（代表者）	・ホテル建設等、リゾート関連の民間工事が動き出していて、生コンの出荷が上昇しそうである。公共工事もかなり発注されている。クルーズ船の増便の影響が寄与しているとみられる。
		食料品製造業（総務）	・先行きに対し消費者が安心感が持てないせいか、日常の購買に関しては依然価格面などで慎重な消費行動をとっているようにみられる。実際に売上も横ばい状況が続いている。
		建設業（経営者）	・モデルハウス及び住宅展示場への来客数は横ばい状態である。しかも真剣に相談する新規客の数が増えていない。
		輸送業（営業）	・離島向け大型工事の資材輸送案件、外食、量販店、ディスカウントショップの出店など引き続き物量増のネタはあるが、大手企業の超過労働の問題を受け、従業員の大幅な残業抑制を積極的に実施していることと、新規採用も厳しい状況が続いていること等から、案件の受託に踏み切れない。また、残業による収入を生活給としていた従業員の離職もあり、不足人員をスキルが足りない上に費用がかかる派遣に頼る悪循環が続いている。

	広告代理店（営業担当）	・業種業態による違いはあるものの、総じて県内企業の販促活動が積極的になっているようには感じられない。やはり、県外、国外企業との競争環境が激化していることが要因となっているものと推察する。
	会計事務所（所長）	・相変わらず観光客は多いが、消費自体には大きく影響していない。
	コピーサービス業（営業担当）	・緩やかに受注数が減ってきている。上向く材料が見つからない。
	x	-
雇用 関連	-	-
(沖縄)	求人情報誌製作会社（営業担当）	・これから求人数が増加してくる。
	求人情報誌製作会社（編集室）	・1月以降は、12月に求人を含んでいた企業からの求人の出稿が増えると予測している。
	学校[大学]（就職担当）	・2017新卒求人についてはこれまでのペースと変わらないのではないかとみているが、3月以降は2018新卒求人が動き出すので、求人の視点からは景気を感じる状況は期待できる。
	人材派遣会社（総務担当）	・県内求人は引き続き堅調に推移するとみられるが、求職者の確保が課題である。
	学校[専門学校]（就職担当）	・景気回復には期待薄で、より一層、堅実感が高くなるとみられる。
	-	-
	x	-